
コミセンおはなし広場

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

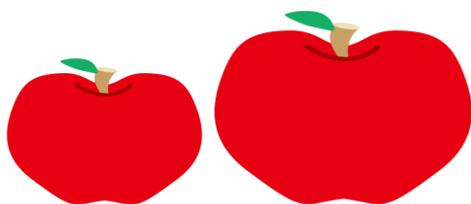
- 開設の趣旨 朗読や、ことばあそび等に親しみ、おはなしや朗読を聞く楽しみを発見する機会とする。
- 期 間 原則第1土曜日
令和2年9月5日～令和3年3月6日（計6回）
※12月はクリスマスのおはなし会（P-20-②）を開催
- 時 間 午前10時～10時30分（計3時間）
- 対象・定員 市内在住の幼児と保護者及び小学生・5組
- 参加者 参加延べ人数 33人
- 講師 赤いりんご朗読会
- 事業内容 手遊び、絵本、紙芝居など
- ま と め

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため4月から8月まで中止となった。9月から定員を先着5組まで減らして、感染防止対策を行いながら実施した。

読み手と聞き手が2m以上離れて実施したため、子どもと触れ合いができない等、例年に比べてお話の楽しさを伝えにくかった。

参加者は幼児がほとんどだったが、毎回楽しみにしてくれている親子もいて楽しそうに参加していた。やはり幼児は問いかけをしながら答えを考える内容に人気があった。

小学生にも参加してもらえるよう、感染症の流行状態を考慮しながら対策を練っていきたい。



コミセンおはなし広場スペシャル ～クリスマスのおはなし会～

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 毎月開催しているコミセンおはなし広場のクリスマスの特別講座として、その内容を充実させ、子ども達に朗読やことば遊びに親しみ、おはなしや朗読を聞く楽しみを発見する機会とする。
- 期 間 令和2年12月19日（土）
- 時 間 午前10時30分～11時30分（計1時間）
- 対象・定員 市内在住の幼児と保護者及び小学生・30人
- 参加者 21人
- 講師 赤いりんご朗読会
- 事業内容 てあそび「もうすぐクリスマス」、大型絵本「しりとりのだいすきなおうさま」、朗読劇「おおきいつりーちいさいつりー」、パネルシアター「ぐりとぐらのおきゃくさま」、ことばあそび「クリスマスをたのしみにしている女の子」、人形劇「だるまちゃんとてんぐちゃん」、ブラックライトパネルシアター他

○ ま と め

会場を児童遊戯室から集会室兼体育室に変更し、例年より定員を減らし、クリスマスソングは歌わずに楽器で参加する等の対策を取りながら実施した。出演の赤いりんご朗読会の皆さんもコロナ禍で活躍の場が狭められる中、感染防止対策を事務局と相談しながら張り切って取り組んでくださった。大きな声を出せない、歌えないという制約があり、例年のように子ども達に積極的に参加してもらうことができなかったが、出演団体が鈴やタンバリン等の楽器を消毒してから個別に袋詰めにして子ども達に渡すよう工夫してくれた。子ども達は楽しそうに楽器でリズムを取りながら参加していた。受け身で観ているだけではなく子ども達自身が積極的に参加しながら物語の楽しさを感じてもらうことが大切なので、一日も早く思いっきり楽しんでもらえる日がきてほしいと思う。

くるくる踊る「ダンシングアニマル」を作ろう！

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 身近な材料を使って遊べるおもちゃを製作することにより、物づくりの楽しさを学ぶ。
- 期 間 令和3年3月13日（土）
- 時 間 午後1時30分～2時30分（計1時間）
- 対象・定員 4才～小学生※小学生未満は保護者同伴・15人
- 参加者 14人
- 講師 おはなしカスタネット
- 事業内容 動くおもちゃ「ダンシングアニマル」の製作
- まとめ



昨年3月に実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止になったため、講座名を一部変更して感染防止対策を取りながら実施することとなった。

当初、なかなか応募がなく心配だったが、講師も広報活動に協力してくれ、参加者も友達に声をかけてくれたので当日までに定員満了となった。

子ども達はねずみ・熊・パンダ・うさぎの4種類から好きな動物を選択して、自由に顔を描いて2種類のおもちゃを作成した。参加者の年齢層は小学5年生から幼児までと幅広かったが、青少年の体験学習に熟練している講師陣が幼児用と小学生用に分けて材料を用意してくださったので、時間どおりに全員が完成することができた。

子ども達は早速出来上がったおもちゃをくるくる回して喜んでいた。どんな仕掛けになっているのか考えながら自分自身の手で作品を完成させることにより、物づくりの楽しさを知る良い機会となった。

現状では感染拡大防止のため触れ合いが制限され、青少年に必要な体験学習も内容に制約があるが、社会教育施設の役割として、今後も対策を取りながら子ども達に多様な内容の体験の場を提供していきたい。

歴史講座

～時代を切り拓いた人物 渋沢栄一の生涯～

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 埼玉県ゆかりの偉人の生涯を学ぶことにより、自国の歴史について理解を深める。
- 期 間 令和2年10月15日(木)
- 時 間 午前10時～正午(計2時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人
- 参加者 25人
- 講師 埼玉県立歴史と民俗の博物館主任専門員兼学芸員 杉山 正司
- 事業内容 明治から大正にかけて活躍し、日本の近代化に大きな役割を果たした渋沢栄一の生涯について学ぶ。県政出前講座として開催。
- ま と め



今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月まで主催事業が中止となっており、成人対象の事業としては今年度初の事業となった。どのくらい応募があるか不安だったが、近隣の高齢者施設等にもポスター等を配布し、広報活動に努めた結果、幸い定員満了となることができた。今回は事前にマスク着用等の感染防止対策の協力依頼を文書で行い、広めの会場で実施、ソーシャルディスタンスを確保するため、椅子のみの配置、換気の実施等の感染防止対策を行いながらの実施となった。

県立歴史と民俗の博物館で令和3年3月から開催される渋沢栄一をテーマとした特別展を担当している同館主任専門員兼学芸員を講師にお招きし、新一万円札の顔、来年度の大河ドラマの主人公である時の人、渋沢栄一の生涯について、各年代に分けた年表を基に詳しいお話を伺った。

あまり知られていない少年・青年時代の活動や思想、第一線を退いた後に取り組んだ福祉・教育・文化・国際交流・親善分野での活躍の話も伺い、地元埼玉県が生んだ偉人の人物像について深く学ぶことができ好評だった。

秋の野草観察講座

～身近な野草と健康ウォーキングを楽しもう!～

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 秋の野草について歩きながら学ぶことにより、健康維持を図るとともに身近な自然に親しむ。
- 期 間 令和2年10月21日(水)
- 時 間 午前9時30分～午後0時30分(計3時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 13人
- 講師 新座市観光ボランティアガイド協会
- 事業内容 【観察コース】西新コミセン→新堀二丁目憩いの森→本多の森→本多緑道→史跡公園→野火止用水→西新コミセン
- ま と め

身近な自然に親しんでもらうことを目的に、今年度初めて野草観察講座を開催した。講師は新座の歴史や文化、自然等のガイドで活躍されている観光ボランティアガイド協会にお願いしたところ、社会教育施設との連携については、以前から検討してくださっていたようでご快諾いただけた。

講師の皆さんは早くから観察経路の下見を重ねた上で、地域の野草や樹木について研究され、写真を多用した分かりやすい詳細な資料を作成してくださった。

当日は3～4名ずつ4班に分かれ、各班に講師が1～2名ずつ付き、樹木や草花の名前やその由来、特性、見分け方等について丁寧に説明していただいた。少人数のため、よく説明が聞き取れ、質問も即時にできたので理解が深まったようだった。

参加者からは「とても勉強になった」「春の観察会があれば参加したい」等の声が上がっていた。



秋の歴史散歩～県指定史跡 野火止用水を歩く～

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 西新コミセンから史跡公園まで歩きながら県指定史跡 野火止用水について学ぶ。
- 期 間 令和2年10月31日(土)
- 時 間 午前9時30分～午後0時30分(計3時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 14人
- 講師 元市学芸員 斯波 治
- 事業内容 野火止用水及び周辺旧跡を歩きながら学ぶ。 昭和31年作埼玉県幻灯コンクール特選作品DVD「野火止用水」の上映有。
【当日順路】西新コミセン→八軒廻し堀→野火止用水(伊豆殿堀)→石仏→御成橋→史跡公園・野火止用水分岐点→菅沢堀跡→野火止用水(伊豆殿堀)→西新コミセン



○ ま と め

この講座は地域の歴史を学ぶことを目的に毎年恒例で開催している人気のある講座だが、今年はコロナ禍のため、定員を減らし、感染防止対策を実施しながらの開催となった。開催を待っていてくれた方も多かったようで申込み初日に定員満了となった。

講座の冒頭に昭和31年作埼玉県幻灯コンクール特選作品のDVD「野火止用水」を上映した。まだ、人々が生活用水として活用していた昭和20年代後半の野火止用水の様子が分かる貴重なカラー映像で大変好評だった。その後、廻し堀の役割やルート、用水の構造、江戸時代から現代までの役割や流れの変化、清流復活事業について元市学芸員の講師から説明を受け、野火止用水やその付近の旧跡を巡り史跡公園まで歩いた。天候も良く、参加者からは「野火止用水を再認識できてよかった」等の感想が聞かれ、「次回を楽しみにしている」という声が多数上がっていた。今後も身近な地元の歴史を再発見できる内容を実施していきたいと思う。

あなたの知らないニュースの裏側

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 報道に対する興味関心を高め、メディアリテラシーの重要性について学ぶ。
- 期 間 令和2年12月12日(土)
- 時 間 午前10時～正午(計2時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人
- 参加者 21人
- 講師 テレビ朝日広報局お客様フロント部 小林 正
- 事業内容 いつも見ているテレビ番組の取材から放送までの意外な舞台裏について、数々の番組のプロデューサーを歴任した講師から話を聞き、ニュースを読み解くワザを学ぶ。テレビ朝日社会貢献活動「テレ朝出前講座」

○ ま と め

今回も新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取りながらの実施となった。土曜日に開催したことより、勤労者層を含めた20代から80代まで幅広い年代の方、普段参加の少ない男性にも参加していただくことができた。

DVD(VTR)を使用しながら、前半は報道番組、後半はドラマ等の番組の現場について、元プロデューサーの講師から製作の舞台裏について分かりやすくお話いただいた。講座終了後、参加者から熱心な質問が多く出され、「もっと話を聞きたい」という声が上がっていた。また、「昨今の若い世代のテレビ離れを踏まえた今後のテレビ業界の方向性も聞きたい」という感想も聞かれた。

マスメディアから受け取る情報について、受け身で聞くだけでなく、自分自身で考えていただく良き手助けの機会になったと思われる。



レジン講座

～本物のお花を使ったバックチャーム作り～

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 物作りを通して心豊かな時間を過ごし、手作りの楽しさを味わってもらおう。
- 期 間 令和3年1月29日（金）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・10人
- 参加者 10人
- 講師 お花とレジンの講師 三好 美夏
- 参加費 材料費 800円
- 事業内容 本物のお花（紫陽花のブリザーブドフラワー）を使い、レジンで懐中時計型のバックチャームを作る。
- ま と め

コロナ禍でどれだけの参加が得られるか心配だったが、受付開始日に定員になりホッとした。当日は欠席もなく、コロナ対策を講じて開催した。講師がバックチャームに入れるたくさんのお花やさまざまなパーツを用意してくれたので、みんな楽しそうに選んでいた。一通り作り方の説明をした後、製作に取り掛かる。

講師が気さくで、分からない点も聞きやすく、作業も順調に進んだ。和やかな雰囲気の中、みんなが集中して物作りできた。

最後に全員のバックチャームを集めて、それぞれ写真を撮ったり、みんなで鑑賞しあったりした。個性溢れる素敵なバックチャームが出来上がった。

皆さんが手作りの楽しさを満喫して喜んでお帰りになった。（お土産付き）



ルーヴルへの招待 ～モネの作品と人生～

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 近代美術への関心を高めるとともに、19世紀末から20世紀前半のフランスの文化への理解を深める。
- 期 間 令和3年2月24日（水）
- 時 間 午後1時30分～3時（計1.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・24人
- 参加者 23人
- 講師 映画演出家 福島 基之
- 事業内容 印象派の代表的な画家クロード・モネについて、世界最大級の美術館、ルーヴル美術館の収蔵作品や、モネが過ごしたフランスの情景を映像で見ながらその生き様について学ぶ。

○ ま と め

19世紀後半頃流行したジャポニズムの影響を強く受け、日本人にも親しみ深い印象派の代表的な画家クロード・モネをテーマとしたので、関心が高く申込み開始の当日に定員満了となった。

DVD「ルーヴルへの招待」を鑑賞し、モネの代表的な作品と人生について、モネが過ごしたフランスの情景等を見て映像で学んでいった。

その後、実際に番組制作に携わった講師から、制作の裏話やルーヴル美術館の成立経緯、モネの人となりや家族等について説明していただいた。現地で取材した講師から具体的な話を聞くことができ、モネの作品が生まれた背景を理解することができた。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしながらの実施のため、色々と制約もあり、工夫すべき点もあったが、アカデミックな内容の講座開催を求める声が多くあがっていたので今後も検討していきたい。

紙バンドで作るバスケット講座

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 日常で使える物を自分で手作りすることで、作品を完成させる楽しみを味わってもらう。
- 期 間 令和3年3月10日（水）
- 時 間 午前10時～午後0時30分（計2.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・10人
- 参加者 10人
- 保育 1人
- 参加費 実習材料費 900円
- 講師 クラフトバンド認定講師 奥村 ひろ美
- 事業内容 紙バンドで日常のいろいろな用途に利用できる持ち手付きバスケットを作る。
- ま と め

コロナ禍で外出もままならない今、おうち時間が長くなり、家で楽しめる「ものづくり」のきっかけになればと企画する。コロナ対策のため定員を半分にして募集した。講座受付開始20分で定員満了となる人気であった。

当日は、欠席者もなく、コロナ対策を講じて開催した。

講師が、あらかじめ作成する順番に番号を付け、カットしたものを用意してくれたのでやりやすかったと思う。まず、土台に紙バンドを交互に組んで底の部分を作り編み上げていった。後半から作業の仕上がり状況に差が生じてきた。時間内に一人も仕上がらなかったことから、作業時間の設定を検討する必要があると思われる。

アンケートでは、皆さんから「とても楽しかった」「先生の説明も分かりやすかった」と喜んでいただいた。コロナ生活の中、「ものづくり」の楽しさを味わっていただき、心癒していただけたと思う。



人権研修事業

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 公民館利用団体代表者を対象に人権について学習する。
- 期 間 令和2年11月28日(土)
- 時 間 午後1時30分～2時30分(計1時間)
- 対 象 西堀・新堀コミュニティセンター利用者懇談会運営委員
- 参 加 者 7人
- 事 業 内 容 「人権アラカルト」の配布
- ま と め

例年、利用者懇談会時に人権DVDの鑑賞を行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用者懇談会が中止となったので、運営委員のみで開催した運営委員会時に「人権アラカルト」を配布し啓発を図った。

ふれあいサロン ～わらべうたであそぼう～

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 季節のわらべうたや、手遊び、絵本などを親子で楽しみ、親子のふれあいや子ども達の情緒を育む機会とする。
- 期 間 原則第1火曜日
令和2年9月1日～令和3年3月2日（計6回）※1月は休み
- 時 間 午前11時～11時30分（計3時間）
- 対象・定員 市内在住の乳幼児と保護者・8組
- 参加者 参加延べ人数 75人
- 講師 おはなしカスタネット
- 事業内容 季節のわらべうた、手遊び、絵本の読み聞かせ、手袋人形、からくりボックス、パネルシアター等

○ ま と め

この事業は童歌を知らない子ども達が増えている現状を憂慮し、日本や世界の童歌の良さを知ってもらいながら、乳幼児と保護者が地域交流をする場を設けることを目的として、地域の社会教育団体「おはなしカスタネット」と連携して実施している。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月から7月までが中止となった。以前は当日参加で実施していたが、感染防止対策として、予約制で人数も削減して実施した。わらべうたは子どもと触れ合いながら行うことが大事なので、講師もやりづらそうだったが、毎回わらべうた、パネルシアター、からくりボックス、絵本等の多彩なプログラムを用意してくださったので、参加した親子はコミュニケーションを図りながら楽しんでいた。以前行っていて好評だった乳幼児向けの本の紹介も現在は控えているが、感染が収束し次第、再開できればと考えている。

午後の音楽会 ～心癒すアルパの調べ～

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 午後のひとときを、アルパの美しい音色で心癒してもらい、心豊かに過ごしてもらおう。
- 期 間 令和3年2月20日（土）
- 時 間 午後1時30分～3時（計1.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人
- 参加者 33人
- 講師 アルパ演奏者 藤枝 貴子
- 事業内容 南米の民族楽器アルパ（ハープ）による名曲の数々を演奏
- ま と め

今年度の午後の音楽会は、新座市が市制施行50周年ということで、新座市出身で活躍中のアルパ奏者・藤枝貴子さんに出演いただいた。

コロナ対策で定員を半分にしての開催となった。

当日は、ソーシャルディスタンス・消毒・換気・検温等、感染対策を講じて行った。春めいた暖かい日和となったが、欠席者も多く残念だった。

普段あまり馴染みのない楽器・アルパ（南米のハープ）であるが、その音色は本当に美しく、心に沁みるものであった。

アンケートでも、「とても感動した」「元気をもらった」「心癒された」など皆さんに喜んでいただいた。

コロナ禍で外出もままならない昨今、少しでも皆さんの心を癒すことができ良かったと思う。



年の輪寄席

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 日本伝統芸能に親しみ、落語もたらず「笑い」から健康を得る。
- 期 間 令和3年3月19日（金）
- 時 間 午後1時30分～3時30分（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人
- 参加者 34人
- 講師 三遊亭圓王、三遊亭王宮、三遊亭圓塾、三遊亭王笑
- 事業内容 真打 三遊亭圓王師匠他、社会人落語家「三遊会」による寄席
- ま と め

例年は高齢者学級「年の輪学級」の公開講座として秋に開催していたが、コロナ禍で「年の輪学級」が中止となったので、例年参加を楽しみにしている方が多い寄席を、感染拡大状況を考慮しながら単独で3月に開催した。

会場を例年より広い部屋に変更し、演者と参加者の距離を4m以上あけ、換気を徹底する等の感染防止対策を取りながら実施した。

参加者からは「コロナ禍で外出もなかなかできず、楽しみも減り、気が滅入っていたので、久しぶりに笑うことができ楽しかった」という声をたくさんいただくことができた。参加者は60代以上の方が多く、シニア層はコロナ禍で外出を控えることにより、心身の健康を害する方も多いため、感染予防対策をとりながら身近な施設に出かけて楽しんでもらうことは健康維持のためにも必要であると思う。

この寄席は毎年楽しみにしている方も多く、「是非継続して行ってほしい」という感想が多く寄せられているので、今後も継続していきたい。

YouTube講座

歴史講座「県指定史跡 野火止用水」・「にいざの民話」の紙芝居

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 新座市の歴史等を紹介し、郷土への理解を深めることを目的に、誰もが場所や時間を問わず学べるYouTube新座市公式チャンネルへ動画を配信する。

- 期間 令和2年10月～令和3年3月（計11回）

- 事業内容 歴史講座「県指定史跡 野火止用水」①～⑦



回	内 容	講 師
1	なぜ野火止用水はできたのか？ 松平伊豆守信綱の逸話、「榎本弥左衛門万之覚」ほか	元市学芸員 新波 治
2	現在の野火止用水と、今は無きかつての水路 廻し堀、分水の存在について。江戸時代の「村の存立」、平林寺の移転	
3	昭和初期～中期の野火止用水の姿 人々の暮らしの変化に伴う野火止用水の役割の変遷	
4	本多付近の史跡等について ～史跡公園・高橋（たかばし）・西屋敷の祠・水路橋・平林寺堀の築堤 ほか～	
5	新座の地形、明治時代の野火止用水の流れと役割	
6	野火止用水の建設Ⅰ～どのように作られたのか～	
7	野火止用水の建設Ⅱ～全体の構造はどうなっていたのか～	

「にいざの民話」の紙芝居

回	内 容	講 師
1～3	黒目川の大蛇、伊豆殿ぼり、瘡守稻荷	絵：瀧島 浩二 文：新座民話の会 語り：赤いりんご朗読会
4	「にいざの民話」の紙芝居製作秘話と黒目川の昔の様子	「にいざの民話」紙芝居 原画製作者 瀧島 浩二

- ま と め

コロナ禍で8月まで主催事業が中止となったことを受けて、どこでも生涯学習を続けられるようYouTubeで講座の配信を行った。当館は郷土資料展示室もあることから、元市学芸員の講師から野火止用水の歴史について多方面から解説してもらう内容にした。また、地域に昔から伝わる民話を子どもたちも楽しめるよう紙芝居で紹介することにした。紙芝居の動画製作にあたっては、紙芝居原画製作者の瀧島浩二氏、新座の民話の会、赤いりんご朗読会の皆さんに協力いただいた。

シニア向け もっと使おう！楽しいスマホ講座

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 シニア世代のICTの効果的活用の向上を目的として、スマートフォンの暮らしに役立つ機能を学ぶ。また、コミュニケーションツールを活用し、地域ネットワークを広げる。
- 期 間 令和3年3月4日～25日までの毎週木曜日（計4回）
- 時 間 午後2時～4時（計8時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の60歳以上の方・15人
- 参加者 15人 参加延べ人数57人
- 講師 シニアITアドバイザー 佐藤 弥子
- 事業内容

回	月 日（曜日）	内 容
1	3月 4日（木）	スマートフォンの基本操作を学ぼう！
2	3月11日（木）	LINEをはじめてみよう！
3	3月18日（木）	LINEの楽しい機能を使ってみよう！
4	3月25日（木）	大切な更新とWi-Fiとセキュリティについて

○ ま と め

昨年度に引き続きシニア向けで連続のスマホ講座を実施したが、大変人気があって受付開始20分ほどで定員満了となり、その後も問合せが長期間続いた。近頃は生活のあらゆる場面でスマホを使うことが多くなっており、スマホ操作になじめず困惑しているシニアの方が多いことが分かる。各自スマホを持参してもらったところ、機種ごとに操作方法が違って説明が難しかったが、講師が1人ずつ丁寧に説明してくださった。参加者からは「色々な機能があることを知ることができてためになった」などの感想が聞かれた。また「遠くまで行くのが大変なので、スマホの連続講座を身近な場所で実施してくれるのは嬉しい」という声が多数上がっていた。